

見事にAクラスとは異なるスタイルを確立した現行CLA。ちょっとヤンチャなストリート感こそ、流麗なシルエットを持つ4ドアクーペにはハマる！

01 THE WHEEL TRENDS

唯一無二のスタイリングこそジーストで

CALL>>WORK (ワーク) 東日本コールセンター TEL:048-688-7555、
西日本コールセンター TEL:06-6746-2859、
中日本コールセンター TEL:052-777-4512 www.work-wheels.co.jp
car shop YSR (カーショップワイエスアール) TEL:072-369-4050 www.ysr0443.jp
PHOTO&TEXT>>HIROYUKI URANO (浦野浩之)

ZEAST ST3

car shop YSR CLA200d

SIZE & SPEC	
SIZE	PRICE
19x8.0J~11.5J	8万1400~10万5600円
20x8.0J~11.5J	9万2400~11万6600円

●カラー/マットブラック(MBL)、トランスグレーポリッシュ(TGP)、ブラッシュド(BRU)
●PCD / 5-100, 114.3, 100~120.65(+8800円)



01 躍動感のあるツイストツインスポークデザインを採用する。02 ステップリムの上に被さるようにスポークがレイアウトされた独自のステップオーバーディスク構造を採用。立体感のある2ピースモデルらしい造形が魅力だ。03 ピアスボルトはゴールドを選択し、ディスクとはトーンの異なるゴールドでコーディネートした。04 カスタム時にCLA用の車高調がなかったため、イデアルにワンオフで製作をオーダー (現在は製品化済み)。写真のようにノーマル比-65mmの落ち幅を実現した。



Mercedes-Benz CLA200d 2020
WHEEL | WORK>>ZEAST ST3(F&R:20x8.5J)
Finish:Titanium Gold Disk + L:Buff Alumite/R:Black Alumite
TIRE | NITTO>>NEO-GEN(F&R:225/30R20)
SUSPENSION | IDEAL>>Trueva
EXTERIOR | Mercedes-AMG>>Panamericana Grille

セオリーにとらわれず、国産パーツで独自のセットアップを導き出す

あらゆる物事にはセオリーが存在する。そうしたセオリーは長年に渡って積み上げられてきたものだから、理に適った手法に違いないのだけど、あえてそこから脱したいと願う人も少なくない。

このCLAは、大阪の『カーショップYSR』が製作したデモカーだ。国産カスタム、なかでもSUVに精通する同店だが、徐々に欧州車への乗り換え組が増えており、最近ではメルセデスも多くなってきた。そんなタイミングで導入したCLAは、ファミリーカーのつもりが乗るごとにカスタム欲が湧いてきて、どんどんデモカー的な立ち位置へと変化。グリルを交換し、ホイールもオーダー、最終的には車高調

もワンオフオーダーすることに。

選んだホイールはジーストST3。ジーストはワークが展開する2ピースブランドで、ステップリムにスポーク先端が覆いかぶさるステップオーバーディスクが特徴だ。立て続けにスポーク系をリリースしてきたが、このST3ではツインスポークをツイストさせた、躍動感あふれるデザインを採用。スポーク先端を繋げることで、リムに被さるスポークの面積を増やし、力強さとともにジーストらしさを表現している。サイズは20インチとし、インセット的に大きなコンケープは取れなかったが、メーカー的にはセミ、ミディアム、ディープと3タイプが用

意される。一般的にメルセデスという海外ブランドや、国内でも鍛造ブランドを装着するのがセオリーとなっているが、「欧州車カスタムにも多様性があるっていいハズ」との八木代表の言葉どおり、恐らくはYSRにしか製作できない一台になっていると思う。それは使用するブランド然り、カラーリング然り、車高セッティング然り。たしかに欧州車の世界で受け継がれてきたセオリーからは外れているかもしれない。ただ、YSRが培ってきたセオリーをしっかりと守って作られたCLAに不自然さはなく、ちょっとヤンチャでストリーターな雰囲気は、むしろイマっぽいと感じた。